

4 教育年報

(1) 編集方針

昭和57年度の県教育行政の成果を記録し、将来に残る公的記録として保存する。

逐年累積記録とするところから、過年度に引き続く体裁とし、大幅な変更はさけるが、新規事業の成果は積極的に記録し、その年度の特色として位置づける。

(2) 内容

昭和57年度の県教育行政の実績

(3) 規格・ページ数・部数

B5版 307ページ 1,300部

(4) 配布対象

教育庁各課・所・館、小・中・高・特殊教育諸学校、市町村教育委員会、知事部局関係各課、県議会議員、文部省、都道府県教育委員会、その他関係教育機関等

5 福島県の教育

(1) 編集方針及び内容

本県教育の現状と教育行政の要点を図表化して編集し、教育庁への来訪者や諸会議の出席者等に配布して、教育についての理解を深める。

(2) 規格・ページ数・部数

A版 長6つ切り 16ページ 2,000部

(3) 配布対象

県教育行政機関への来訪者、研究大会等諸会議への出席者、市町村教育委員会、文部省、各都道府県教育委員会等

6 教育庁各課(所・館)の広報紙・誌

総務課以外の各課・所・館の広報刊行物は、次のとおりである。

刊行物名	課(所・館)	発行回数	規格	ページ数	発行部数
子どものすこやかな成長のために	義務教育課	1	A5	8	90,000
育てよう、すこやかに	高校教育課	1	A5	16	30,000
福島の養護教育	養護教育課	1	B5	50	2,000
社会会教育	社会教育課	4	B5	20	2,100
生涯学習ふくしま	社会教育課	4	B4	4	6,000
体育 時報	保健体育課	1	B5	70	800
ふくしま福利だより	福利課	4	B5	8	23,500
所報 ふくしま	教育センター	5	B5	32	1,500
館報あづま	図書館	3	B5	8	2,000
郡山少年自然の家所報	郡山少年自然の家	3	B5	8	1,700
会津少年自然の家所報	会津少年自然の家	4	B5	8	1,500
県北の教育	県北教育事務所	2	B5	6	3,600
県北教育事務所だより	県北教育事務所	2	B4	2	3,600
県中教育	県中教育事務所	4	B5	4	4,200
教育広報県南	県南教育事務所	3	B5	4	1,600
「教育広報県南」特集号	県南教育事務所	1	B5	4	1,600
あいづね	会津教育事務所	4	B5	6~10	2,900
教育広報南会	南会津教育事務所	3	B5	4	750
教育広報相双	相双教育事務所	4	B5	4~6	2,000
特集号外相双だより	相双教育事務所	2	B5	1	2,000
教育広報いわき	いわき教育事務所	3	B5	4	3,000
文化福島青	文化センター	12	B5	16	3,000
海	海浜青年の家	4	B5	8	2,000

7 教育長記者会見

教育に対する県民の期待と関心の高まりに伴い、教育行政施策の普及推進のため、教育長と県政記者との会見を行った。

会場 教育委員室

内容 県民に広報を必要とする重要な施策及び行事等で、昭和57年度に取り上げた主な内容は、次のとおりである。

4月27日(火) 昭和57年度福島県公立高等学校入学者選抜の結果について

9月21日(火) 昭和57年度福島県文化功労賞受賞者・教育文化関係功労者の決定について

11月22日(月) 昭和58年度県立高等学校生徒募集定員について

3月25日(金) 昭和57年度末人事異動について

8 記者発表及び資料提供

各報道機関(15社)をとおして、教育行政についての県民の理解と協力を得るため、府内各課の広報を要する事項について、随時、県政記者クラブ及び社会記者クラブで記者発表及び資料提供を行った。月別の件数は、次のとおりである。

昭和57年度月別記者発表及び資料提供

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
記者発表	1	2	2	2	2	1	2	2	2	5	8	31	
資料提供	1	5	7	5	2	6	7	10	6	6	4	11	70

9 地区別教育広聴会

教育行政に対する広聴活動として、昭和47年度から地区別教育広聴会を実施してきたが、57年度は次の3地区で行った。

第1回 県中地区 6月8日(火) 県中合同庁舎

第2回 会津地区 8月26日(木) 文化福祉センター

第3回 県北地区 11月11日(木) 杉妻会館

(1) 目的

県内の各学校の教職員から教育指導の実態や問題点に対する意見等を聞き、本県教育委員会の今後の行政施策の参考に資する。

(2) テーマ

① 県中地区

「健やかな成長のために」
——都市部・大規模校教員に聞く——

② 会津地区

「期待される人間の育成のために」
——会津の教育を考える——

③ 県中地区

「学校教育の充実をはかるために」
——小・中・高等学校長に聞く——

(3) 意見発表者

① 県中地区(8名)

小学校教員3名、中学校教員3名、高等学校教員1名
県立聾学校教員1名